

平成 27 年度 いちやりば食育ネット情報交換会を開催

平成 28 年 2 月 23 日、那覇第 2 地方合同庁舎会議室において、「平成 27 年度いちやりば食育ネット情報交換会」を開催いたしました。

「いちやりば食育ネット」（沖縄地域食育推進ネットワーク）は、県民の草の根運動的な食育活動の推進が図られるよう、情報受発信を側

面から支援することを目的として、当局が平成 17 年に設置したものです。会員同士の食育活動について情報交換をする「いちやりば食育ネット情報交換会」は、4 回目の開催となり、7 団体 14 名の参加がありました。



情報交換会の様子



大城氏の出前授業の様子（左）

地元食材の料理（右）

と題して、酪農教育ファームや、南風原町内の小中高校での出前授業の取組をご講演いただきました。講演では、酪農体験や、地元食材を利用した料理教室などを通じた地産地消や命、食の大切さを伝える活動についてご紹介がありました。

続いて、農林水産省の補助事業である「平成 27 年度消費者ニーズ対応型食育活動モデル事業」を県内で実施した琉球新報社の仲原崇夫氏に、「<感じる 食べる 育つ>をテーマに展開してきた食育活動」のタイトルで事業報告を行っていただきました。

最後に、今後とも食育活動に取り組んでいくと共に、県内の食育推進に資するため、いちやりば食育ネットの会員を増やしていくことを確認して閉会となりました。

本情報交換会では、いちやりば食育ネットの運営状況を報告した後、食育活動をボランティアで行っている沖縄県食生活改善推進連絡協議会をはじめ、4 団体から活動状況報告をいただきました。

また、基調講演として南風原町の美花城ファーム代表の大城清子氏をお招きし、『「食農教育の取組」～教育ファームと出前授業～』



琉球新報社の仲原氏